

んだすな

11
2007.NOVEMBER



ふるさと体験モニターツアーのじゅんさい摘み取り体験。短時間でしたが大好評でした

めざせ!まちづくりの拠点組織 特定非営利活動法人 一里塚(三種町)

めざせ!まちづくりの拠点組織

特定非営利活動法人 一里塚(三種町)

当法人は「田舎ながらも誰もが安心して快適に暮らせる、魅力あふれるまち」をめざし、三種町をエリアに少子高齢化や教育、福祉、環境、産業など地域のさまざまな課題・問題を住民自らの責任で解決していこうと、有志が立ち上がり生まれました。民間の着想と手法によってまちづくりの拠点組織としての自立をめざします。

活動分野は、行政や企業では取り組みにくい地域課題を全てやりたいという情熱とミッションにより、特定非営利活動促進法の17分野のうち幅広く10分野と決めました。

これまでに各種助成金を活用し、県と町と東京ふるさと会との協働で実施した「ふるさと回帰相談会」、その後の旧町ふるさと会で実施した「回帰相談会」、結婚相談所の研修、子育て支援グループとの話し合いや新グループ作り、移送サービス事業の研修、町とふるさと会との協働で実施した「ふるさと体験モニターツアー」、大

学や自治体との連携、福祉と回帰事業の先進地視察など、地域課題解決をテーマにした活動に取り組んでいます。

NPO法人立ち上げには、約1年以上の準備と勉強期間を経て、昨年7月に法人化したものでまだ基礎作り段階です。法人設立準備中の勉強会では、講師に特定非営利活動法人あきたNPOセンターの菅原雄一郎氏をお招きしてご指導いただき、準備段階の勉強会はとても大切だと実感しています。今でも活動のさまざまな問題解決にあたり力をかけております。

発足当時の会員は、13名で平均年齢が50代後半でしたが、現在では若い人や女性、東京ふるさと会会員も加わり25名となりました。定例会は、浜口郵便局隣接の砂像会館(理事長所有)の事務所で週1回開催しています。毎回10名くらいの会員が集まり夜遅くまで議論を続けています。本当に不思議ですが、内容が毎回非常に



「なんでも分かるふるさとフォーラム」と題したふるさと回帰相談会には故郷に想いを寄せている方が多数参加



研修を兼ね訪問した能代の地産地消の農家レストラン星場台



モニターツアーのみなさん



回帰事業を視察するため福島・栃木に研修



農家レストランを営む野村さんが浜小屋でモニターツアーのみなさんに地域の食材について説明後みんなで朝食を作り食事会

おもしろく準備段階から今まで欠かさず実施しています。

おかげで、当法人の評価も大変よく組織が急成長していますが、この予想外の展開にまだ中身が整っていない状況です。今後は事業に見合う人材の育成を急ぎ、各事業を進めるための役割分担などをし、組織の基礎体力を更にアップしていきたいと考えています。また、最近課題となっているのは組織運営資金について補助金や助成金に頼らない、継続的活動を展開するための資金調達方法(自主事業等)についてです。県でも資金調達環境整備についての勉強会を開催しているので、この機会に継続的な活動の方法を検討していきたいと思っています。

東京ふるさと会とは、東京在住三種町出身者の会で現在、東京八竜会・東京山本会・関東琴丘会の3団体です。

特定非営利活動法人 一里塚

理事長/清水 昭徳 会員/25名 設立/平成18年
☎ TEL0185 85 2487



が砂像に挑戦

「一里塚」には、社会不安の増大、地域の弱体化が進むなか、安全・安心の確保をめざす地域の道しるべでありたいという想いが込められています。
(清水理事長)



助成金獲得いるは

活動に当たり2種類の助成金を活用されているとのことなので、詳しい内容についてお聞きしました。

三種町の「ふるさと暮らし相談会補助金」

町のふるさと会3団体会員を対象としたふるさと暮らし相談考えた時期や理由 平成18年12月にふるさと回帰事業が地域振興のひとつと考えました。

活用方法 東京都内でのイベント開催費用

申請に当たり留意したこと 県と町と東京ふるさと会との話し合いです。

東北農政局の「農村コミュニティ再生・活性化支援事業」

考えた時期や理由 山本地域振興局より3月に情報提供があり検討のうえ申請し平成19年7月に決定。理由はボランティア活動だけでは活動が継続対応できない。地域が疲弊しているので、助成金でより広い地域振興の活動を展開しようと思ったためです。

問題は、1/2補助率で補助金納入が平成20年4月となるため、それまでの間は他から借入することになったことです。

活用方法 定住関係の活動に活用。進行中の事業で現在のところ、東京ふるさと会でのふるさと暮らし相談会3回、イベントを利用したふるさと体験モニターツアー1回、ふるさと紹介ビデオの制作2本を実施。

申請に当たり留意したこと ア費用対効果、いかに地域にとって有効な助成金として活用していけるか、町民から見え期待される活動か、広がりを展開する活動か、期待され理解される活動か イ正確な会計事務

そのほか、申請後に農政局よりヒアリングがあり、ざっくばらんに相談することができ実施できる自信につながりました。

イベント情報

平成19年度秋田県小坂・鹿角地区男女共同参画パワーアップ事業
かづの発 イキヌキ宣言!
 ~ほっとして ゆっくりして 元気だしていこう!~

日時:平成19年11月26日(月)18:30~20:30
 会場:鹿角市児童センター(鹿角市花輪字上中島)
 講師:谷 京子さん(お話の会グループがぜ 代表)
 佐藤 美津子さん(音楽療法士)
 参加費:無料
 託児希望の場合は要予約。無料
 主催:秋田県
 企画・実施:小坂・鹿角地区パワーアップ実行委員会
 問 申込:秋田県北部男女共同参画センター
 TEL.0186 49 8552 FAX.0186 49 8589

NPO 法人の会計経理・税務に関する 基礎講座

NPO 法人の経営能力の向上と組織基盤の強化を目的として、NPO 法人の会計経理担当者及び NPO 法人への申請を考えている団体の会計経理担当者を対象とした会

計経理・税務に関するセミナーを開催します。
 日時:平成19年12月1日(土)13:00~17:00
 会場:遊学舎(秋田市上北手荒巻字塚切)
 テキスト:「ウサギもカメもよくわかる NPO の会計改訂版 version3 (1,000円)をお持ちの方はご持参ください。
 なお、当日会場で購入することもできます。
 問 秋田県生活環境文化部
 県民文化政策課地域活動支援室
 TEL.018 860 1519

第17回しあわせ実感男女フォーラム

日時:平成19年12月1日(土)
 会場:秋田市文化会館(秋田市山王七丁目)
 テーマ:「AKITA で描こう
 ~あなたとわたしのしあわせ未来図~」
 内容: ワークショップ/ウゴポリー、スクエアダンス(12:00~13:30) 講演/今より少し自由に生きられるための秘訣
 講師/逢 洋子さん(タレント) ¥14:00~15:40) 映画
 上映/フラガール(16:00~) 人権・困りごと相談 12:00~15:30)
 参加料:無料(ただし、講演、映画は整理券が必要)
 主催:しあわせ実感男女フォーラム実行委員会・秋田市
 問 秋田市役所 男女共生・次世代育成支援室
 TEL.018 866 2141 FAX.018 866 2405

LOOK

どうなる市民活動の助成金!?

市民活動団体にはさまざまな活動がありそれぞれの活動資金源も違ってきます。ボランティア団体が会費や寄付金の範囲で活動しているうちはよいのですが、各自治体、民間の助成金等を利用している場合はどうなっていくのでしょうか。

民間の助成団体は増えており種類も多様化しています。その反面、各自治体の財政状況は厳しく今後行政からの資金援助を受け続けることは困難になると予想されます。

市民活動団体が今後将来にわたって安定的・持続的に活動を行っていくためにはどのような仕組みづくりが必要なのかについて他県 の取り組み状況を参考にしながら、秋田県にあった資金調達環境の整備についての勉強会が

10月30日遊学舎で行われました。これまでの様子は秋田県市民活動情報ネットに掲載されています。また、この「んだすな」11月号にアンケートを同封しましたので、皆様のご意見等お待ちしております。

問 秋田県北 NPO 支援センター(担当/田畑)
 TEL.0186 49 3485
 FAX.0186 49 8589

東北6県では、宮城県「みやぎ NPO 夢ファンド」、「みんなファンド」、岩手県「いわて NPO バンク」、「いわてコミュニティファンド」、福島県「公益信託うつくしま基金」、青森県「青い森ファンド」の後を継ぐファンド・バンクについて検討中という状況です。秋田県と山形県ではまだ取り組まれていません。



NPO と行政と企業の 協働推進セミナー

協働事例発表

「環境問題に取り組む」

意見交換・情報交換プログラム

「協働による次世代につなぐ環境づくり」

日時:平成19年12月3日(月)13:30~16:30

会場:秋田県北部男女共同参画センター(大館市字大町)

コーディネーター:田中 喜昭さん(かづの21プラン事務局長)

参加費:無料

定員:30名(定員になり次第締切)

主催:秋田県

問 実施団体/申込:秋田県北 NPO 支援センター

TEL.0186 49 3485 FAX.0186 49 8589

平成19年度

あきた女性チャレンジ支援事業

女性政策チャレンジセミナー 暮らしからのチャレンジ!



[第1回]12月4日(火)10:00~15:00

内容:それっておかしくない!!どうしてそうなるの?~疑問やク
レームを体験・調査から学びへ~(午前)

わたしだったら・・・「魅力あるまちづくり」(午後)

講師:遠藤 智栄さん(特定非営利活動法人せんだい・み
やぎ NPO センター プロジェクトディレクター)

[第2回]12月5日(水)10:00~15:00

内容:みんなて話そう(第1回講座を受けて・午前)

講師:遠藤 智栄さん

話し方講座「わ・た・しを伝える」(午後)

講師:綿引 かおるさん(フリーアナウンサー)

会場:両日とも北部男女共同参画センター(大館市字大町)

定員:20名(定員になり次第締切)

託児希望の場合は要予約。無料

当セミナーは4回シリーズです。第3・4回の詳細について
はお問い合わせください。

主催:秋田県

問 申込:秋田県北部男女共同参画センター(企画・実施)

TEL.0186 49 8552 FAX.0186 49 8589

第11回 IAVE アジア太平洋地域ボランテ ィア会議2007in 名古屋・愛知

テーマ「ボランティア・地域環境問題解決への協働の取り
組み」

日時:平成19年12月7日(金)~11日(火)

会場:ウィルあい女 愛知県名古屋市

問 NPO 法人愛・地球博ボランティアセンター(事務局)

TEL.052 486 2055 FAX.052 486 8822

http://www.iave2007nagoya-aichi.jp

いのちのはぐくみ講座

出産・育児の不安解消!

妊娠・子育てライフを楽しもう!

日時:平成19年12月8日(土)10:00~12:00

会場:秋田県北部男女共同参画センター(大館市字大町)

講師:菅原光子さん(秋田県助産師会大館北秋田支部長
助産師)

内容:妊娠中からの子育て、出産や母乳についてなど、子
育てにかかせないお話

対象:妊娠中の方とそのご家族、出産・育児に不安や悩み
のある方、母乳育児を考えている方

定員:20名(定員になり次第締切)

主催:大館市家庭教育推進協議会

問 申込:秋田県北 NPO 支援センター

TEL.0186 49 3485 FAX.0186 49 8589

第5回北の演劇祭

明治の芝居小屋「康楽館」(国重要文化財)を会場に、一
般演劇団体や高校演劇部が発表・交流の機会を持ち、演
劇文化の向上を図ることを目的に開催。

日時:平成19年12月9日(金)10:15開場

会場:康楽館(小坂町小坂鉾山字松ノ下)

演劇作品:能代北高等学校演劇部「君がいたから」

黒子座「みんな違って みんないいパートV」

演劇集団 九月とアウラー(盛岡市)「結婚の申し込み」

入場料:大人600円 高校生以下無料(ただし、入場整理
券が必要)

問 「北の演劇祭」実行委員会

TEL.0186 29 3411 FAX.0186 29 5330

募 集

「オーライ!ニッポン大賞」募集

募集対象:【オーライ!ニッポン大賞】都市と農山漁村の共生・対流を促進するため、「都市側から人を送り出す活動」、「都市と農山漁村を結びつける活動」、「農山漁村の魅力を活かした受け入れ活動」等について優れた貢献のあった団体もしくは個人【ライフスタイル賞】U・J・Iターン等により農山漁村において、個性的で魅力的な新しいライフスタイルを実践している個人
応募締切:平成19年12月10日(月)

問(財)都市農山漁村交流活性化機構 オーライ!ニッポン大賞事務局(上野・茅原)

TEL.03 3548 2718 FAX.03 3276 6771

農林水産省農村振興局 農村政策課 都市農業・地域交流室
グリーン・ツーリズム企画班

TEL.03 3502 8111 FAX.03 3595 6340

http://www.ohrai.jp

平成19年度「SYD ボランティア奨励賞」募集

SYD ボランティア奨励賞とは、ボランティア活動の分野において画期的な新機軸を拓いたり、優れた活動により著しい業績をあげたグループ・団体を顕彰することによって、青少年のボランティア精神の涵養と活動の活性化を図り、青少年の健全育成に資するもので、最高は文部科学大臣賞です。

応募資格:ボランティア体験あるいは実践をしている個人及び団体(学校、クラス、生徒会、ボランティア部 JRC など)やPTA、子ども会、グループ等

テーマ:私(たち)の幸せの種まき《ふれあい、思いやり、よろこびを伴ったボランティア体験あるいは実践》

応募締切:平成19年12月20日(木)

問 SYD(財団法人修養団)ボランティア奨励賞 係

TEL.03 3405 5441 FAX.03 3405 5424

http://www.syd.or.jp

第2回いのちと献血俳句コンテスト 作品募集

いのちの尊さ、愛、友情、助け合い、感動などについて思うこと感じたことを俳句で表現してください。

応募資格:年齢、男女、国籍は問いません。

部門:【個人部門】団体部門】

応募締切:平成19年12月31日(月)

問 日本赤十字社 赤十字情報プラザ

TEL.03 3437 7580 FAX.03 3437 7581

http://www.ken-haiku.jp

我が家の環境大臣 第2回 我が家の 「eco宣言」募集

環境省では、家庭におけるエコライフの一層の推進を目的として、家庭、子ども及び団体内での環境保全に関する取組を、我が家の「eco宣言」として募集します。優秀な取組やユニークな取組については、環境大臣賞を授与します。

応募内容:【ファミリー部門】家庭での活動内容【子ども部門】学校・地域・子どもエコクラブなどのこどもの活動内容(中学生以下)【団体部門】企業・団体・NPO等における社員、構成員及びその家族に対する活動内容

応募締切:平成20年1月15日(火)

問 我が家の環境大臣全国事務局(財)日本環境協会)

TEL.03 5114 1251 FAX.03 5114 1250

http://www.eco-family.go.jp

能代市民歌の歌詞を募集

市民のだれでもが親しみを持てるもので、新しい能代市としての一体感が醸成できる歌詞とすること。作品は自作で未発表のものに限り、1人1作品の応募とします。

応募資格:制限はありません(能代市内外を問いません)

募集期間:平成19年12月1日(土)~平成20年1月20日(日)消印有効

問 能代市役所総務部総務課「能代市民歌・歌詞募集」係

TEL.0185 89 2113 FAX.0185 89 1762

http://www.city.noshiro.akita.jp/info/soumu/soumu/kashibosyuu.html

第4回 田舎懸賞論文

テーマを「田舎」に、田舎の現状と将来について若者が何を感じ、どう考えているのか自由に論じてください。

応募資格:対象者18才~30才まで。但し、大学生、大学院生、専門学校生は年令不問(4,000字程の小論文にまとめてCD-Rと印刷物を1部お送りください。)

賞金:最優秀賞1人10万円ほか

応募締切:平成20年1月31日(木)必着

問 NPO 共育学舎 TEL. FAX. 0735 47 2160

http://kyouiku-gakusya.itrobo.net

お知らせ

秋田内陸線のポストカード「季節の中で Vol.3」制作

秋田内陸線サポーターの有志で組織する「秋田内陸線プロモーション」が、内陸線支援活動の一環として、ポストカード「季節の中で Vol.3」を制作しました。今回のポストカードは、紅葉に

染まる内陸線沿線をはじめ四季の情景などが魅力たっぷりに収められています。ポストカードは下記販売先で購入出来るほか、電話でのお申込みもできます。(郵送料は実費)

販売価格 300円(6枚1組)

問 秋田内陸線プロモーション(代表/佐藤和博)

TEL.090 3124 2664

米代川流域地方拠点都市地域基本計画の変更に係る公表について

米代川流域の3市12町1村の16市町村で構成された地域が、地方拠点法 に基づく米代川流域地方拠点都市地域として、平成5年8月に地域指定を受けました。

これに伴い、「米代川流域地方拠点都市地域基本計画」を作成し、大館能代空港など多くの施設整備が図られてきましたが、平成17・18年の合併により、4市4町の8市町となったことから、計画を見直しましたので、その内容について公表いたします。

地方拠点法とは、地方拠点都市地域について都市機能の増進及び居住環境の向上を推進するための措置や地方拠点都市地域への産業業務施設の移転を促進するための措置などについて定めた法

詳しくは鹿角市、北秋田市、大館市のホームページをご覧ください。

11月は「過重労働・賃金不払残業解消キャンペーン月間」

秋田労働局では11月を「過重労働・賃金不払残業解消キャンペーン月間」として、労働者の健康障害の防止、賃金不払残業の解消などを図ることとしています。また、11月23日(金)の勤労感謝の日に、労働者やご家族の方などからの無料電話相談を受け付けます。

無料電話相談実施日時:

11月23日(金)9:00 ~ 17:00

フリーダイヤル:0120 897 283

問 秋田労働局労働基準部監督課

TEL.018 862 6682

助 成 金

「精神障害者支援」リソース PC 寄贈プログラム

対象団体:精神障害者支援の市民活動団体からご申請いただき、選考会にて寄贈団体を決定させていただきます。(1団体10台まで可能)

応募締切:平成19年12月10日(月)当日消印有効

問 特定非営利活動法人イーパーツ 事務局

TEL & FAX.03 5481 7369

<http://www.eparts.jp.org/act/publicoffer/index.html>

平成19年度民間福祉団体等への活動助成

福祉または福祉に関連する分野において、先駆的・独創的な活動を行っているNPO やボランティア団体に対して活動費を助成する。3年間継続可能

助成対象:福祉にかかわる事業を行っている民間社会福祉団体・ボランティア団体・NPO 法人等に対する助成を行います。

助成金額:1団体につき上限70万円(総事業費の80%)

応募締切:平成19年12月14日(金)

応募用紙はホームページまたは各市町村社会福祉協議会内にある市町村共同募金会事務局にあります。

問 社会福祉法人 秋田県共同募金会 TEL.018 864 2821

FAX.018 895 7513

<http://www.17.ocn.ne.jp/~akakita/>

第9回社会貢献基金助成

地域の種々の災害の救済、社会福祉事業、環境保全事業、国際協力など社会貢献活動を行う各種団体等への助成、並びに社会貢献に資する調査・研究を目的とした事業に対する助成。

助成金額:総額およそ1,000万円(1件当たりの助成額上限は200万円)研究助成事業は100万円上限

助成対象:幾つかの条件を満たした非営利組織(財団法人、NPO 法人、その他任意団体など)又は大学、研究機関(個人も可)

応募締切:平成20年2月末日必着

問 社団法人全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局

TEL.03 3433 4415 FAX.03 3435 0880

<http://www.zengokyo.or.jp/social/promotion/no.02.html>

平成20年度(第7回)環境 NPO 助成

「環境と経済との調和」「環境と科学技術との調和」に資する活動に対して助成します。

助成対象:特定非営利活動促進法(NPO 法)第10条の規定にもとづき設立された国内の法人、又は3年以上の実践活動歴を有する国内の任意団体。

助成金額:1件当りの助成金額は原則として150万円を限度とし、数件の団体を選定し助成する。

応募締切:平成20年1月25日(金)当日消印有効

問 (財)日立環境財団

TEL.03 3257 0851 FAX.03 3257 0854

<http://www.hitachi-zaidan.org/kankyo/topics/topics.30.html>

「食を考えるネットワーク」について

近年、子ども達の「朝食欠食」や「偏食」、核家族化に伴う「孤食」、カロリー摂取過多による「肥満」や「メタボリック症候群」の増加等、「食をめぐる現状は危機的な状況にあります。また、牛海綿状脳症(BSE)や鳥インフルエンザ、食品表示等食の安全・安心についての関心も高まっています。

このことから、東北農政局秋田農政事務所地域第一課(能代・山本・男鹿・潟上・南秋地域)第二課(大館・北秋田・鹿角地域)では、『食育』や『食の安全・安心』に関する施策の普及・啓発と意見・情報交換などを行い顔の見える関係づくりを進めるため、平成17年



毎月19日を「食育の日」とし推進しています



個々の情報を共有して活動に結び付けています

に「食を考えるネットワーク」を設置しました。

委員は地域の消費者、生産者、流通関係事業者、栄養・教育関係者、行政関係者等14~15名で構成され、平成19年度は3回の実施予定でそれぞれ2回目まで開催しています。

このネットワークをきっかけに「A女性部とPTA母親懇談会の交流が始まった例もあり、「食」に関わる団体の活動の活性化や施策への意見反映の一助となればと考えています。

問 東北農政局秋田農政事務所

地域第一課(能代)TEL.0185 58 2311

地域第二課(大館)TEL.0186 43 3135



イベント・活動情報など掲載記事を募集します。お気軽にご連絡ください。

市民活動情報ネット

秋田県の市民活動団体が登録されています。関連情報も満載です。ぜひ、ご活用ください!!
<http://www.akita-kenmin.jp/npo/index2.asp>

<編集後記> どんな活動にも設立当初、3年目、10年目といった段階で他の団体と共通の課題が浮かび上がってきます。会員が日頃からディスカッションできる環境だと課題も解決しやすくなります。このような仲間に出会えることが活動の醍醐味だと実感しています。

北部市民活動サポートセンターは秋田県から委託を受けて、特定非営利活動法人秋田県北NPO支援センターが運営しています。

北部市民活動サポートセンター(北部男女共同参画センター内)

活動団体を応援!

北部男女共同参画センターでは、打ち合わせや会議ができます。コピーができます。パソコンが使えます。貸し出し図書があります。

利用の際、団体登録が必要になる場合があります。また、利用内容によって料金がかかりますので、詳しくはお問い合わせください。

〒017 0841
 秋田県大館市字大町57
 TEL 0186 49 8553
 FAX 0186 49 8589
<http://www.akita-kenmin.jp/north-support-center/>

